



ごあいさつ

福井県栄養士会 会長 北山 富士子

会員ならびに賛助会員の皆様、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。第5波も落ち着きつつありますが、まだまだ気の抜けない日々をお過ごしのことと存じます。

さて、全国各地で地震や豪雨など、毎年多くの災害が発生しており、本会といたしましても、有事の際、迅速に医療・福祉・行政栄養部門等と協力して、状況に応じた栄養・食生活支援ができる人材の育成を進めることは急務となっております。各都道府県栄養士会では、災害時にJDA-DATとして活動できるよう各自治体と災害協定を結んでおります。本会でも、組織内の規約や組織図、連絡網などを整備し、有事の際に活動できるよう、栄養と食の専門職として県や市町との協定締結を行わなければなりません。平成30年度からJDA-DATスタッフ研修会を定期的に開催し、スタッフの養成ならびにスキルアップを図っており、現在、JDA-DATリーダー6名、スタッフ41名(令和2年度末時点)が養成研修を修了し日本栄養士会に登録されておりますが、支援だけでなく受援の場合を考えても、まだまだ登録者が少ない状況です。今後多くの会員の方々にスタッフ登録、さらにリーダー登録をしていただきたいと思っております。

また、本年4月からの介護報酬改定において、栄養マネジメント加算が基本サービスの中に組み込まれ、「管理栄養士の配置」が位置づけられました。スキルアップを図るための研修会を開催いたしておりますが、本会ホームページを改修して、管理栄養士・栄養士の求職ならびに求人対応のための『介護報酬相談窓口』も開設いたしておりますので、どうぞご利用ください。

世の中はコロナ禍で動きが停滞しているように見えますが、私たちを取り巻く事柄は大きく変化しており、専門職としての対応が必要です。

本年も理事を中心として、オンラインによる様々な研修会を展開しておりますので、会員の皆様もどうぞご協力くださいよう、よろしくお願い申し上げます。



令和3年度厚生労働大臣表彰・公益社団法人日本栄養士会会長表彰

厚生労働大臣表彰 (敬称略)

栄養指導業務功労者

・・・小川 みちよ
(福井中央クリニック)

特定給食施設

・・・社団医療法人財団中村病院

公益社団法人 日本栄養士会会長表彰

(敬称略)

50年表彰 桑野 洋子

(五十音順)

25年表彰

伊藤 弓恵・・・(シルバーケア日野)
尾崎 由美・・・(福井大学教育学部附属特別支援学校)
片岡 祐美恵・・・(敬老会 シルバーハイツ宮崎)
川端 幸美・・・(全国健康保険協会 福井支部)
北野 殊代・・・(福井県済生会病院)
米谷 美紀・・・(鯖江木村病院)
佐々木 智子・・・(越前市役所)
野路 直美
早瀬 美香・・・(福井大学医学部附属病院)
村下 佳苗・・・(特別養護老人ホーム高雄苑)

受賞おめでとうございます

受彰者の皆様からのメッセージです。

このたびは思いも掛けない厚生労働大臣賞を受賞し、これもひとえに清水名誉会長、北山会長、栄養士会事務局の御指導御協力の賜物と心から感謝いたしております。これからもこれに満足することなく、様々な栄養関係の問題に取り組み、活動を継続していきたくと思います。



厚生労働大臣表彰
小川 みちよ
(福井中央クリニック)

この度は栄えある賞をいただき深く感謝申し上げます。

患者様に寄り添う病院として、食を通して地域の皆様に安心していただけるよう、職員一同力を合わせて更なる精進を重ねて参りたいと存じます。今後もご指導賜りますようお願い申し上げます。

厚生労働大臣表彰
社団医療法人財団 中村病院

ありがとうございます。皆さまに支えられて充実した50年を送ることができました。

生涯の生業として栄養管理や給食管理に携わり、探究に務めた日々は私の宝物です。

「たのしみは我を育てしこの会が活躍される姿みるとき」



公益社団法人
日本栄養士会会長表彰
桑野 洋子

令和3年度公益社団法人福井県栄養士会定時総会開催

令和3年5月22日(土)に福井県国際交流会館において公益社団法人福井県栄養士会定時総会を開催しました。令和2年度事業報告・会計報告の承認、令和3年度事業計画・予算について、質疑を行い定時総会を終了しました。新型コロナウイルス感染症の影響により2年続けて規模を縮小しての開催となりました。



新人 welcome 研修会開催

令和3年7月3日（土）に新人welcome研修会をWebで開催しました。当日は、Zoomを活用したグループワークと清水 瑠美子名誉会長による講義を行いました。

グループワークの意見を紹介します。

Q 現在、力を入れている業務は何ですか？

献立作成がんばっています。
旬の食材を使ったり、外国の料理を紹介したり 等々

相手にわかりやすく伝えられるか考えたり、準備をしておくように心がけています。

Q 困っていることはありますか？

指導案を作成するなど、授業の組み立てがまだまだ苦手です。

相手からは「詳しいはず」と思われることが多いので、応えられない時は困ります。どのくらい伝えてもいいのかな？も迷います。

Q 目指したい管理栄養士・栄養士像を教えてください。

職場で、自分にしかできないことをする管理栄養士。そのため、職場の特性や求められることを理解できるようにになりたいです。

専門知識をもとに、人の興味をかきたてられる話のできる管理栄養士。栄養はもちろん、色んなスキルを身につけられるよう研鑽を積んでいきたいです。

相手の気持ちに寄り添える、求められていることがわかる管理栄養士。日頃から、相手の気持ちを考えられるようになりたいと思います。身近な先輩の行動を真似してみようと考えています。

～ファシリテーターを体験して～

最初は、進行に戸惑いもありましたが、参加された方のお話そのものは興味深く楽しい時間でした。

グループワークの中で「どうすれば信頼される管理栄養士になれるか」との質問をいただきました。私自身もまだまだ勉強が必要だと思っていますが、常に、知識の習得や情報を収集し、最新の情報に更新していくことが重要だと考えています。私も、対象者となる方の行動変容に関与できるような管理栄養士になれるよう取り組んでいきたいです。

横山 恵璃 山田 麻由

令和3年度介護報酬改定概要及び研修会について

令和3年度介護報酬改定について

令和3年4月から介護報酬改定が施行されました。今回は、食事・栄養に関する内容が多く、管理栄養士・栄養士にとってかなり大きな改定となりました。

まず、平成17年10月から開始された栄養ケア・マネジメント加算が基本サービスの中に組み込まれ、栄養ケア・マネジメントは必ず行う、行っていないのであれば、3年の猶予はありますが減算となります。また、より手厚い栄養ケアを行うために栄養マネジメント強化加算が新設され、管理栄養士の配置が組み込まれました。そして科学的介護システム(LIFE)に接続し、活用しフィードバックを受けることで対象者が改善しているのかがデータを通じて見えるようになります。

通所系サービスでも経口・栄養スクリーニング加算、栄養アセスメント加算が新設され、スムーズに栄養改善につながるようなシステムが構築されました。また、これまで管理栄養士、栄養士の配置がなく、栄養状態について手つかずだった認知症グループホームにも栄養管理体制加算が新設され、管理栄養士が介入することで加算が算定できるようになりました。

居宅療養管理指導では、医療機関や各都道府県栄養士会が運営する栄養ケア・ステーションに登録されている管理栄養士だけでなく、介護保険施設に勤務する管理栄養士も配置規定はありますが、介入ができるようになりました。

●令和3年からの介護報酬における 栄養関連サービスについて

新設サービス <small>「介護人負担軽減加算」等と併せて算定可能なサービスとして、介護人負担軽減加算等とは併せて算定不可</small>	栄養マネジメント強化加算 11単位/日(新設) ※入所者全員が対象 【要件】・管理栄養士の人員配置(労働時間) ・低栄養リスク中・高に該当3日のミールラウンド ・各栄養リスク値に寄っても対応 ・LIFEの活用(特にフィードバック)	経口移行加算(Ⅰ、Ⅱ) (Ⅰ)400単位/日 (Ⅱ)100単位/日 <small>経口移行するまでの期間に限り算定可能 ※経口移行認定後79日経過</small>	経口移行加算 28単位/日(190分) <small>※経口移行認定後算定</small>
	再入所待機看護加算 200単位/日 <small>※入所待ちに入居する期間に限り算定可能</small>	経口移行加算 28単位/日(190分) <small>※経口移行認定後算定</small>	
療養加算 5単位/日(35分) ※療養加算が算定された場合に算定			栄養ケア・マネジメントの実施 ▲14単位/日(105分) <small>※14単位/日(105分)は、LIFEの活用(特にフィードバック)が実施された場合に算定可能</small>

●令和3年度 新旧比較表(栄養関連サービス) ※各サービスは算定可能

サービス名	(旧)	(新)
栄養スクリーニング加算 5単位/日 <small>※14単位/日(105分)は、LIFEの活用(特にフィードバック)が実施された場合に算定可能</small>	なし	経口・栄養スクリーニング加算(Ⅰ) 20単位/日(新設) <small>(※栄養アセスメント加算、栄養改善加算及び経口移行加算と併せて算定可能)</small> 経口・栄養スクリーニング加算(Ⅱ) 5単位/日(新設) <small>(※栄養アセスメント加算、栄養改善加算及び経口移行加算と併せて算定可能)</small>
栄養改善加算 150単位/日	なし	栄養アセスメント加算 50単位/月(新設) <small>(※経口・栄養スクリーニング加算(Ⅰ)及び経口移行加算との併算は不可)</small> 栄養改善加算 200単位/日 <small>※併算に不可(併せて算定不可)※併算不可</small>
認知症対応型共同生活介護★	なし	栄養管理体制加算 30単位/月(新設)

※各サービスは算定可能(併せて算定不可)※併算不可

介護報酬改定に伴う研修会 (3回開催予定)

1回目は、令和3年6月26日(土)福井商工会議所でZOOMを利用して、(公社)日本栄養士会が4月9日(金)に開催した研修会の伝達研修を行いWeb78名と、会場8名の参加でした。また、介護保険施設以外の会員の方も多く参加され、今回の改定が他職域の方々にも関心の深いことだと感じました。

今回の制度から新しく導入されたシステム「LIFE」について、「入力の頻度は」「フィードバックはどのような状態なのか」などの質問が多くありました。このシステムは次回の介護報酬、診療報酬の同時改定時に医療の方にも導入が検討されると言われています。厚生労働省 日名子 まき氏の講義は、(公

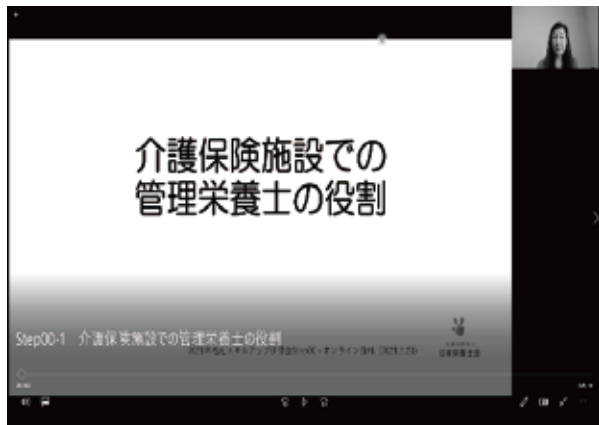
社) 日本栄養士会に申し込みば YouTube で閲覧できます。

2 回目は、令和 3 年 9 月 23 日(木)に福井商工会議所において ZOOM を利用して開催し、60 名の参加でした。

この研修は、栄養スクリーニング、アセスメント、モニタリングを正しく記入できなければ誤った情報を「LIFE」に入力してしまい、正しいフィードバックを受けられないのでは、という事から開催しました。

講義後参加者から寄せられた質問には、コーディネーターとしてシルバーケア日野 小木曾 幸江氏、(福)生喜会 原嶋 典子氏が、自施設の実施状況などを含め対応しました。

3 回目は、下記の日程で福井県内の福祉施設で行われている「栄養ケア・マネジメントの実際」を予定しております。多くの方のご参加をお待ちしております。



介護報酬改定に伴う研修会

1 回目	6月26日(土) 終了	令和 3 年度介護報酬改定伝達講習 「令和 3 年度介護報酬改定を踏まえた栄養ケア・マネジメントのこれから」 講師：厚生労働省老健局老人保健課 介護予防栄養調整官 日名子 まき氏
2 回目	9月23日(木) 終了	栄養ケア・マネージメントを最初から学ぶ ～栄養マネージメントの基礎栄養ケアプランの作成(実践)～ ①「介護保険施設での管理栄養士の役割」 講師：(公社)日本栄養士会福祉職域事業推進委員会 委員長 加藤 すみ子氏 ②「栄養マネジメントの基礎～実際に記入してみよう ～栄養スクリーニング、アセスメント、モニタリング」 講師：(公社)日本栄養士会福祉職域事業推進委員会 委員 石村 敦志氏 ③「栄養マネジメントの基礎 ～実際に記入してみよう～栄養ケア計画」 講師：(公社)日本栄養士会福祉職域事業推進委員会 委員 元家 玲子氏
3 回目	12月11日(土) 14:00～15:30	栄養ケア・マネージメントのノウハウについて 湯の里ナーシングホーム 安達 礼実氏

栄養管理・食育研究会

令和3年8月9日（月）にZOOM配信により、第10回栄養管理・食育研究会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、2年ぶりの開催となりました。例年は研究発表を中心に構成していますが、本年度はコロナ禍における現状について3名の方々が報告しました。



医療「非常時における給食管理の取り組み」

福井県立病院 五十嵐 めぐみ氏



福祉「コロナ禍における高齢者施設の感染症対策の取り組み」

社会福祉法人 生喜会 原嶋 典子氏



学校「コロナ禍から現在の給食運営の対応について」

福井市木田小学校 横山 恵璃氏

各職域での取り組みは、どのテーマも全ての施設で検討が必要であり貴重な内容で大変参考になることばかりでした。



次に福井県丹南健康福祉センター 中野 智子氏による「食品衛生法改正とHACCPの制度化等について」と、食品衛生法改正の概要などのご説明をいただきました。その後、特別講演として「HACCPに沿った衛生管理～新しい制度と現状の衛生管理の実際～」と題して 東京サラヤ株式会社 サニテーション事業本部感染予防・食品衛生サポート部 HACCAP 事業推進室 室長 家柳 典行氏より、HACCPの基本から日々の実践に必要な知識まで、具体的な内容の講義をいただきました。新しい話題も多く、私たちの業務に直結する貴重な情報であり、現場で利用できるフォーマットなども多数ご提示いただきました。

今回は配信開催のため、4社の賛助会員様から会社・商品に関する紹介動画、2社の賛助会員様から資料のご提供をいただきました。ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

栄養の日

たのしく食べる、カラダよろこぶ

日本栄養士会

（公社）日本栄養士会では、2016年に「栄養の日（8月4日）」「栄養週間（8月1日～8月7日）」を制定しました。2021年度は「Japan Nutrition—ニッポンの元気、栄養のすごい—」を統一テーマに、7月から8月にかけて「栄養ワンダー 2021」「2021年度全国栄養士大会・オンライン」等多くのイベントが開催されました。

令和3年度福井県栄養士会生涯教育研修会について

生涯教育は、“管理栄養士・栄養士スキルの標準化と、管理栄養士・栄養士として国民のために役立つ能力を身につけること”を目的としています。

今年度の「生涯教育研修会」は、少人数に絞った対面形式とWeb配信の併用で下記の通り開催しました。

1回目	令和3年 11月6日(土) 13:30~15:00	「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針 ～妊娠前からはじめる健康なからだづくりを～の改定に伴って」 講師(医) 福井愛育病院 院長 鈴木 秀文先生
	15:00~15:30	オリエンテーション
2回目	令和4年 11月24日(水) 19:00~20:30	「知っておきたい食品と薬物の相互作用」 講師 仁愛大学人間生活学部健康栄養学科 学科長 鳴瀬 碧先生

◆1回目講演：「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針 ～妊娠前からはじめる健康なからだづくりを～の改定に伴って」



鈴木先生より、「妊産婦のための食生活指針」の改定をうけ、実際の臨床現場での妊娠や出産にまつわる状況と、妊娠前からはじめる健康なからだづくりとなっている食生活指針の改定に伴う理由や背景などについてご講義いただきました。

妊娠年齢が高くなるなかで、妊娠により生活習慣病は確実に悪化すること、BMIが高くなりやすいことから出産のリスクが増す一面があること、その一方、若年女性では「やせ」の問題から早産や低体重児のリスクが高いこと、早産や出生時体重の低さは児の将来の生活習慣病のリスクの増大につながるなど今回の改定の根底にある

【病棟での鈴木先生】 とのことでした。また、妊娠中の体重増加の目安量の改定はあくまでも妊娠前のBMIによる個別対応が必要であり、適正体重に近づけておくために食生活は大切だと話されました。

2020年版食事摂取基準による妊婦や授乳婦の栄養管理基準に関する付加量が必要な栄養素については、妊娠週と胎児の成長の説明のなかであわせて解説して下さり、特に葉酸摂取不足が、胎児先天異常として神経管欠損の原因となることについて、神経管の形成の説明と共にご説明頂きました。妊娠前から葉酸摂取不足を起こさないこと、一部の遺伝的要因や薬物の影響を除く流産や先天異常は必要な葉酸摂取ができていれば防げると話されました。改めて葉酸を含む栄養バランスの良い食事の必要性和、女性のからだについて再認識することが出来、管理栄養士として、栄養改善の必要な方への栄養指導や相談の重要性を実感し、心に留めておきたいと思いました。

～受講者の感想～

妊娠前の栄養状態や食生活が、妊娠中、胎児の成長、更には将来の生活習慣病へつながるなど、改めて日々の食生活や食習慣の大切さを再認識しました。ありがとうございました。

小林 香織

～受講者の感想～

改定に併せて、妊産婦の現状や低出生児、葉酸と胎児疾患についてなど詳しくお話し頂き、大変勉強になりました。管理栄養士として、より一層励んでいかなければという気持ちにもなりました。ありがとうございました。

石黒 真理子

「糖尿病診療ガイドライン2019についての研修会」開催



令和3年4月22日(木)、「糖尿病診療ガイドライン2019についての研修会」を開催しました。講師に福井中央クリニックの笈田 耕治先生をお迎えし、オンライン配信と少人数に絞った対面開催で合計77名の参加者がありました。

「糖尿病診療ガイドライン2019」の大きな変更点として、総エネルギー摂取量の目安を求める式のエネルギー係数の基準が「軽い労作:25~30kcal/kg」から「普通労作:30~35kcal/kg」に変更され、必要とされるエネルギー摂取量が増加したことが挙げられます。また、体重も従来のBMI22を基準とした「標準体重」から年齢によって幅を持たせた「目標体重」に変更されています。

その他、アメリカでは多様な食事法が発達していることや血糖コントロールに有効とされる新規の運動法として赤筋と白筋の中間的特徴を持つ「ピンク色の筋肉」を増やすトレーニング法などもご紹介いただき、運動に関してもより理解を深めたいと感じました。

今回のガイドラインでは年齢や活動量によって柔軟に対応する旨が打ち出されています。三大栄養素の比率、特に炭水化物摂取比率についてはリバウンドがないよう環境や好みなど総合的に配慮しながら、患者に寄り添いながら指導につなげていきたいと思いました。

また、血糖値が目標範囲内に収まっている時間を示すTime in Range (TIR)という指標についてもご説明いただき、これらを包括的に解析し評価するツールがウェアラブル機器に実装される可能性など、今後の夢が広がるお話をお聞きする事ができました。

時節柄、会場にて貴重なご講演をいただきました笈田先生には、心より感謝申し上げます。

「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)」スタッフ育成研修

JDA-DAT(日本栄養士会災害支援チーム)は、日本国内外での大規模な地震、台風等の自然災害が発生した場合に、迅速に被災地内の医療・福祉・行政等と協力して、栄養・食生活の支援を行うことを目的としています。

JDA-DATスタッフとして活動するためには、「日本栄養士会災害支援チーム運営要綱」に基づく研修の全科目を修了後、日本栄養士会にスタッフの登録を行う必要があります。

本会では、平成30年度からスタッフ育成研修を実施し、現在リーダー6名、スタッフ41名(令和2年度末時点)が日本栄養士会に登録しています。今年度も10月から11月にかけて、オンラインで3日間のスタッフ育成研修を実施しました。

受講対象者は、災害支援経験者または管理栄養士(栄養士)として2年程度の活動(就業)経験者およびJDA-DATスタッフ登録者です。なお、スタッフ登録者には、JDA-DATスタッフとしての活動やJDA-DATリーダー研修への派遣を計画していきます。

本会では、県内および近隣の県で大規模災害が発生した際に、関係機関と連携・協力して迅速な対応ができるよう、今後もJDA-DATリーダーを中心として、災害時の支援・受援体制の整備を進めてまいります。

会員の皆様へ

今後も、一人でも多くの方に研修会の参加ならびにリーダー・スタッフの登録をお願いいたします。

今後の研修会予定

令和3年度 在宅栄養管理指導研修センター運営委託事業研修会

場 所：Web 会議室ソフト (ZOOM) を用いて配信もしくは福井商工会議所2F 会議室

日程および研修会内容

1 回 目	令和3年 12月11日(土) 15:45～16:45	「福祉施設における栄養ケアマネジメントの現状①」 ～特別養護老人ホーム編～ 講師：長寿園 管理栄養士 石塚 雅章氏 「福祉施設における栄養ケアマネジメントの現状②」 ～介護老人保健施設・デイケア編～ 講師：シルバーケア日野 管理栄養士 山中 脩矢氏
2 回 目	令和4年 1月22日(土) 15:00～16:30	「在宅における栄養管理・食事支援の実際」 ①コロナ禍における在宅栄養管理と他職種連携 講師：嶺南振興局二州健康福祉センター地域保健課 佐々木 眞由美氏 ②腎機能低下に伴う糖尿病患者の支援 講師：金沢大学附属病院 栄養管理室 室長 徳丸 季聡氏
3 回 目	令和4年 2月5日(土) 14:30～16:00	「診療報酬や介護報酬改定を見据えた 地域包括ケアシステムの推進における管理栄養士の役割(仮題)」 講師：学校法人藤田学園 顧問 藤田医科大学 教授 三浦 公嗣先生

令和3年度 運動と食事に関する研修会

場 所：Web 会議室ソフト (ZOOM) を用いて配信

日 時：令和3年12月24日(金)15時30分～16時30分

出前授業：「運動と食事教室 成長期の運動と食事」

講 師：株式会社 明治

令和3年度 発達障がいがある子どもへの理解と食支援研修会

場 所：Web 会議室ソフト (ZOOM) を用いて配信もしくは福井商工会議所2F 会議室

日 時：令和4年1月15日(土)14時～16時

講 義：「偏食を抱える発達障がい児への理解と食支援」

講 師：福井県発達障害児者支援センタースクラム福井 副センター長 野村 昌宏 氏

今年度の年末懇親会は中止します

新型コロナウイルス感染症対策情報

福井県嶺南振興局二州健康福祉センターのホームページに、新型コロナウイルス感染症対策に関する研修動画や、陽性者が発生した時に職場から保健所に提出する書類、家庭や職場で陽性者が発生しPCR検査を受けることになった場合の検査等についての情報を掲載しています。 URL：<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/nisyuu-hwc/covid19.html>



令和3年度
賛助会員名簿



春夏秋冬
鮮度にこだわり
食の喜びと幸せをお届けする

株式会社アコス
FOOD COMMUNICATION

〒919-0301 福井県福井市下細江町第6号1番地
TEL(0776)41-7400(代) FAX(0776)41-7401(代)

Eat Well, Live Well.



Aji
AJINOMOTO.



株式会社
石川コンピュータセンター

お問い合わせ先 ☎ 076-268-8315




栄養管理システム
HOSPITAL SOLUTION
PC-栄養

献立・食数の管理からNST業務
に至るまで強力サポート!


Version.4

栄養・味を逃がさず艶やかな仕上がりを非加熱で実現
おいしさ長持ち・ツヤ感向上・汁漏れ防止をこれ一品で
ドリップをおさえる驚きの粉末



プチドリップ®

寒天のトッピングメーカー



伊那食品工業株式会社

名古屋支店 / 愛知県小牧市小木東1-49 TEL: 0568-75-6660



真心のこもった料理をより多くの皆様へ

イフスコヘルスケア株式会社

医療・福祉施設等給食業務請負
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員)

本社 〒553-0003 大阪市福島区福島七丁目15番26号
福井事務所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階
Tel (0776) 97-8156 / Fax (0776) 97-8157
ホームページ <http://www.ifsc-hc.co.jp>



「伝えたい」が「伝わる」
栄養指導フードモデル

お問い合わせ
ご注文は
こちらまで



いwasakiグループ

株式会社いwasaki 〒920-0848 金沢市京町32-22
金沢営業所 TEL: 076-251-1418

0120-198-953

www.foodmodel.com




食を楽しくするベストパートナー

尾家産業株式会社

東証一部上場 コードNo.7481
URL: <http://www.oie.co.jp>

業務・給食用食品



株式会社サン食品
fain foods

〒918-8161 福井市銚ヶ崎町25-58
TEL(0776)38-3830番(代)
FAX(0776)38-2985番
URL ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp/>
メールアドレス info@sunsyokuhin.co.jp



●業務用カット野菜&青果卸販売●
●365日年中無休●



光陽青果株式会社
Fruit and vegetable Dealer

〒910-0836 福井県福井市大和田1丁目101番地
TEL 0776-53-1177 FAX 0776-53-1176
<http://www.koyo-seika.com/>

業務用総合食品問屋



塩田食品株式会社

本社 〒918-8578 福井市円山1丁目405
TEL: 0776-54-6767 FAX: 0776-54-6633

支店 〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4
TEL: 0770-25-1155 FAX: 0770-25-1239

高齢者専門宅配弁当

宅配クック123

TEL: 06-6192-8101

〒594-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目17番26号
エスプリ江坂ビル8階
株式会社シニアライフクリエイト
TEL: 06-6192-8101

TERUMO

Innovating at the Speed of Life

昨日より今日、今日より明日。
テルモは、世界中の医療現場と、患者さんのために、
いのちに寄り添い、新たな価値を創造しつづけます。

テルモ株式会社 www.terumo.co.jp

世界に誇れる羽毛ブランド
HARUO DOWN

いい羽毛からしか、
いい羽毛ふとんは生まれない。

睡眠と、
空気と、
水と、

TUK 東洋羽毛北信越販売株式会社 北陸営業所
〒921-8066 石川県金沢市矢野3丁目270 TEL: 0120-365-021

笑顔あふれる給食を

業務用厨房機器総合メーカー

株式会社 中西製佐所

〒918-8231 福井県福井市問屋町4丁目1207
TEL: 0776-24-0565
URL: http://www.focaltrust.co.jp

病院・高齢者福祉施設のお食事のことならお任せください

お食事を通じて高齢者の皆さまに生きる喜びを

株式会社 **ナリコマ** エンタープライズ

金沢営業所
〒920-0017 石川県金沢市諸江町下丁 59-1-003 号
TEL.076-255-3810 FAX.076-255-3820

NISSHIN oillio

パーフェクトシリーズ
トウフィールシリーズ

日清オイリオグループ(株)
ウエルネス 食品営業部
TEL03-3206-5636

総合厨房設備・リフト設備設計施工

株式会社 **畑中厨房株式会社**

代表取締役 畑中 博

〒918 福井市成和1丁目906 TEL(0776)24-1477 FAX(0776)22-3268
HATANAKA CHUHO CO.,LTD.

人材派遣・有料職業紹介

focal Trust

〒918-8231 福井県福井市問屋町4丁目1207
TEL: 0776-24-0565
URL: http://www.focaltrust.co.jp

業務用厨房機器 総合メーカー

fujimak

株式会社フジマック www.fujimak.co.jp/
福井営業所: 福井市和田東2-1527 Uビル1-B TEL0776-27-5799

北陸電力株式会社

新調理システム体験車
「オーロラ号」

ご利用・お問い合わせは
福井支店営業部営業担当
TEL 0776-29-6982
FAX 0776-29-6981

meiji 株式会社 明治

乳酸菌 シロタ株が
**高菌数
高密度**

Yakult

乳酸菌 シロタ株が
1本(100ml)あたり
1,000億個

※ヤクルトレディがお届けしています。

(株) ヤクルト北陸 福井本社

【お申し込み・お問い合わせ】 ☎ 0120-1-8960-3

受付時間 9:00~17:00
土・日・祝・
夏季休業・年末年始を除く

事務所メールアドレス変更のお知らせ 日本栄養士会会員ページ内のメールアドレス登録のお願い

会員の皆様には、昨年も本誌等でお知らせしました通り、2020年6月9日より福井県栄養士会事務所のメールアドレスが fukuei@nifty.com に変更となっております。

また、今後当会からの情報発信にメール配信を導入していく予定です。**日本栄養士会会員内のメールアドレス未登録の会員様には、登録をよろしくお願いいたします。**

福井県栄養士会に入会して共に活動しましょう!

(公社) 福井県栄養士会は、管理栄養士・栄養士の皆様が職業倫理を遵守した業務を行っていくために必要な新しい情報、良き指導者、語り合える仲間の幅を広げていきましょう。

社会に貢献できる管理栄養士・栄養士を支援する専門職能団体である当会に、是非に入会されますようご案内申し上げます。

令和4年度の新会員を募集しています

1 会費

	既会員	新会員(再入会含む)
令和4年度会費内訳		
福井県栄養士会入会金		1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合計	14,500円	15,500円

2 納入方法について

(1) 会費は年会費(4月～翌年3月)ですが、年度途中からの入会も可能です。下記の指定口座にお振り込みください。

① 郵便局 00760-1-29715

② 福井銀行 本店 0715691

※平成28年度より、福邦銀行からの振込は行っていません

(2) 次年度継続会費は、ハガキ様式のコンビニ専用振込書が日本栄養士会から送付されますので、お近くのコンビニからおさめてください。(別途手数料は自己負担になります)

(3) その他の方法での納入を希望される場合は、福井県栄養士会事務局にお問い合わせください。

3 その他

(1) 会員証について

新会員の方には会費納入が確認され次第、日本栄養士会から会員証が「日本栄養士会雑誌」に同封されて届きます。

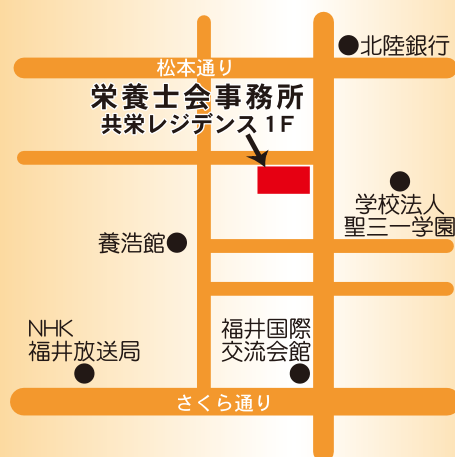
会員証を紛失、損傷した時、記載事項に変更があった場合は、福井県栄養士会事務局にご連絡してください。

(2) 個人情報の変更について

姓、住所、勤務先等の個人情報の変更がある場合は、「会員登録事項変更届」(本会ホームページからダウンロードできます)にご記入の上、福井県栄養士会事務局にFAXで送信してください。

(FAX 0776-27-5999)

栄養士会事務所のご案内



業務曜日：月・火・木・金
(定休日：水・土日祝祭日)
業務時間：9:30～16:30

栄養ふくい 11号

■ 編集 (公社) 福井県栄養士会
情報コミュニケーション事業部

加藤 みえ子

天野 美鶴

竹田 邦恵

■ 印刷 マイプリントコーポレーション株式会社